Good Neighbors Japan
www.gnjp.org

グッドネーバーズ・ジャパン
年次報告書
2015
2015.1-2015.12

© Chanhak Park

ごあいさつ

今年も、昨年の活動をまとめた「年次報告書」を皆様にお届けいたします。日頃より私どもグッドネーバーズ・ジャパンにご支援・ご協力くださっている皆様にあらためて感謝を申し上げます。

国際 NGO グッドネーバーズ・インターナショナルは、2016 年に 25 周年を迎えます。昨年は、新たに南米ニカラグアを支援国に加え、全世界で 100 万人以上の子ども達を対象に教育支援を行いました。

その日本法人であるグッドネーバーズ・ジャパンは、アジア・アフリカの 8 カ国における子どもの教育支援を中心とした地域開発や、災害時の緊急支援などの活動を実施しています。昨年は、2014 年に実施したイベント "I do for Chad" の参加者の方の思いが実を結び、集まった募金によってチャドの小学校の校庭に井戸が完成しました。また、年頭のマラウイ洪水では日用品や食料を提供、4 月のネパール大地震では、グッドネーバーズ・ジャパンとしては初めてとなる公共水道の修理事業を行うなど、被災地のニーズ毎に臨機応変に活動しました。

2015 年 9 月、国連ニューヨーク本部で行われた「国連持続可能な開発サミット」において、持続可能な開発目標 (SDGs: Sustainable Development Goals) が採択されました。これは過去 15 年間、グッドネーバーズはもとより世界の目標とされたミレニアム開発目標 (MDGs) の次のステップとして、新たな、または残された課題に対応するため、より包括的・具体的な開発の実現を目指すものです。グッドネーバーズも国連経済社会理事会の総合協議資格を持つ NGO として国連の招待を受け、イ・イルハ総代表を含む 3 名の代表団がサミットに参加しました。

日本を含む国連に加盟するすべての国は、SDGs をもとに、2015 年から 2030 年までに、貧困や飢餓・エネルギー・気候変動・平和的社会など、持続可能な世界を作るための目標を達成すべく力を尽くすことが求められています。
グッドネーバーズは今後もサポーターの皆様や国連、市民社会とのより強いパートナシップを基に、SDG s に対する取り組みを拡大し、子どもの笑顔にあふれる社会を作ることに全力を注ぎます。今後とも、皆様には継続的なご関心・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

福井 玲

グッドネーバーズ・ジャパン代表理事
東京大学教授

ビジョン　- 目指す世界 -

子どもの笑顔にあふれ、
誰もが人間らしく生きられる社会

ミッション　- 取り組んでいること -

国内外のパートナーと共に、貧困及び差別の原因や災害・紛争による脅威を取り除く

目次

P2　ごあいさつ
P3　現場から　活動地域
P4　海外のコミュニティー開発事業
P20　緊急支援活動
P22　2015 年のできごと
P26　会計報告・組織概要・役員一覧

現地からごあいさつ

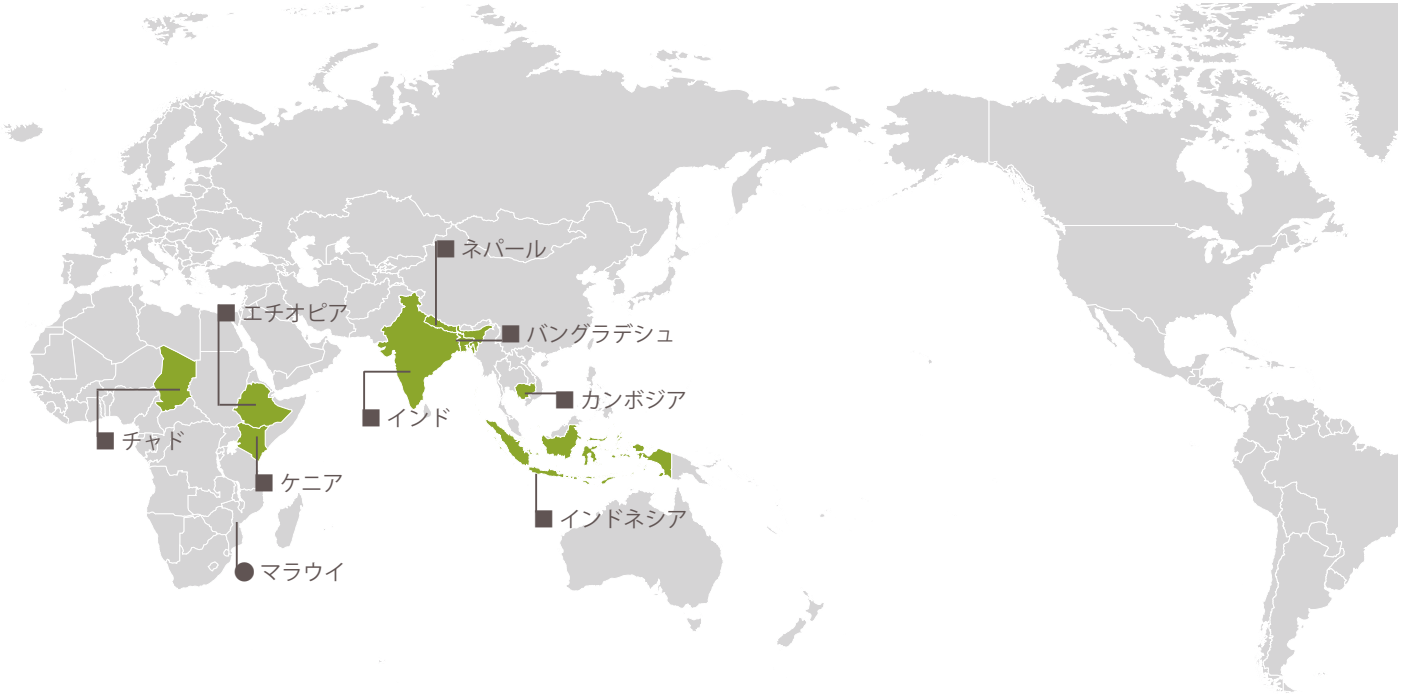
グッドネーバーズ アジア圏本部長　コ・ソンフン

2015 年、グッドネーバーズはアジアの 15 カ国で、教育、医療・保健などの活動を通じ 12 万人余りの子どもを支援しました。一方、大きな災害に見舞われた年でもありました。ネパールで発生した大地震については、現在でも復興支援事業が進められていいます。地震の中心地であったゴルカ地域には、元々グッドネーバーズの事務所があり、被災者の迅速な緊急救援を可能にしました。
コミュニティー開発事業では、プログラムを整備して、地域とともに問題解決に取り組みました。 特に収入向上のために 3 万 6 千人余りを支援し、アジアの経済発展の中で各地域が取り残されないよう事業を進めてきました。全て、支援者の皆様がいてこそ可能なことです。 今後も皆様の積極的な愛と関心をお願いします。

グッドネーバーズ アフリカ圏本部長　アン・スンジン

近年アフリカではエルニーニョが引き起こした干ばつの影響で、栄養不良に苦しむ子どもの心身の成長や、将来の健康や生産性への影響が懸念されています。グッドネーバーズは、干ばつと紛争問題に苦しむアフリカの 13 カ国で約 31 万 2 千人の子どもと地域住民のため、教育、医療・保健等多様な事業を展開しました。その内 5 万 5 千人の子どもサポーター事業対象の子ども達には、教育の機会の提供、学校へのアクセス改善、教育の質向上などを目的とし、『ホープスクール』建設と教師の育成を行いました。2016 年もアフリカ圏は、気候変動、紛争、疾病による危機への脆弱さに対し、迅速な対応と専門性を備え、貧困の削減そして子ども達の生活と未来のためにミッションに取り組みます。

活動地域

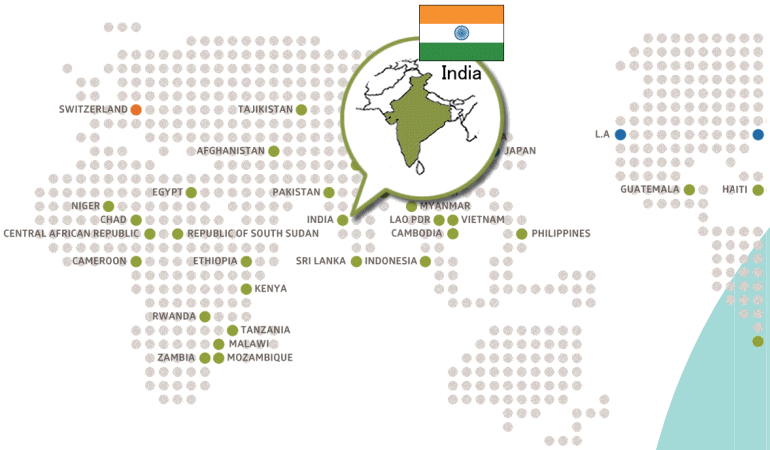


■ グッドネーバーズ・ジャパンの支援国
● 支援国以外で 2015 年度に活動した地域

インド

を運営し、1,182名の子どもが通うデイケアセンターや保育園を運営。カードやダンスを取り入れた、楽しくて質の高い幼児教育を提供しました。

活動地域



活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 6 歳以下の子ども 844 人にポリオワクチンを接種。
- 起業を支援した自助グループメンバーの融資返済率 90%以上。
- 苦手科目を中心に、993 人の小学生に毎日 1 時間の補習授業を実施。
- 98%が初等教育から中等教育へ進学（全活動地域平均）。
- 8,322 人が安全な水にアクセスできるよう、井戸 9 基と、3 つの浄水設備、1 基の大型貯水タンクを設置。

ワクチン接種を受ける子ども

女性の自助グループ対象のワークショップ

子ども議会でスピーチ

こんにちは、私はアンビカ（12 歳）です。元々はカルナータカ州に住んでいましたが、家族と仕事を探しにチクジャラ地域に移住しました。お父さんは石切り場で建設作業員をしています。私はここ数年、グッドネーバーズの支援を受けていて、人間の基本的な権利について学んでいます。

懸命に話すアンビカさん

ある日、州の『子ども議会』で話をする機会があると知りました。先生から、代表して話す生徒を決める選抜会があると聞き、私には夢のようなことだと思いましたが、頑張って選抜会に出たところ、なんと私が代表に選ばれました！

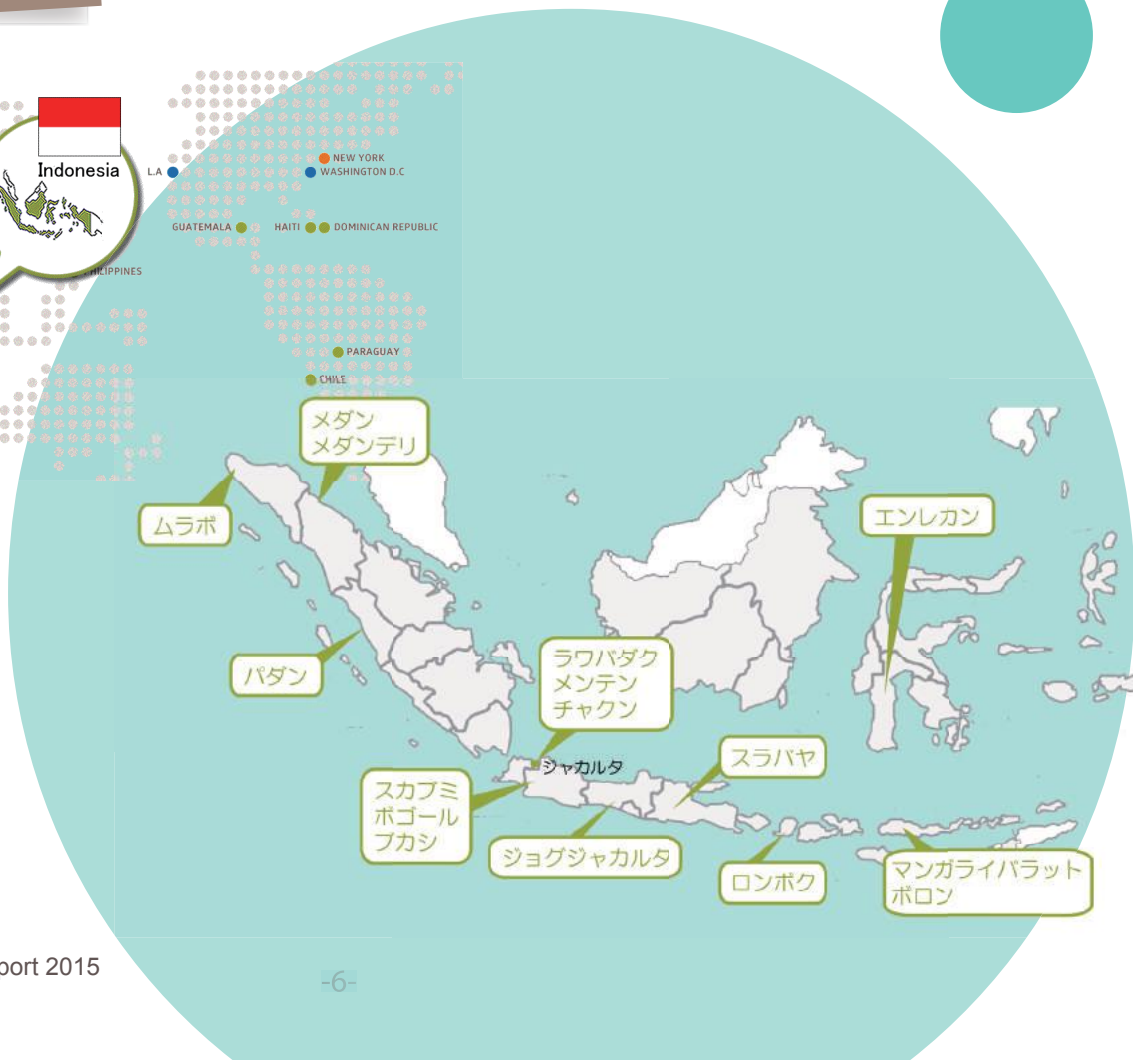
その後、グッドネーバーズのスタッフが研修やスピーチのアドバイスをしてくれたおかげで緊張も解け、準備万端で子ども議会に臨みました。議会では、『女子生徒専用のトイレと全ての子ども達に平等の機会を』というテーマで、州首相に訴えました。州首相はこの訴えをすぐに聞きいれると言ってくれ、議会の様子は、テレビや新聞でも報道されました。

コミュニティの人や他の生徒達からも「良かったよ」と言ってもらえ、自信もつきました。将来は立派な指導者になって少数者の権利のために闘いたいと思っています。

インドネシア

9,271 人の子どもが健康診断や歯科検診を受けることができました。

活動地域



活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 11,814 人の子ども達に学校制服、鞄、文房具、教科書を提供。
- 南スラウェシ地域で活動を開始するための調査を実施。新たに約 1,200 人の子どもの支援を予定。
- 教師対象のトレーニングを 25 回実施。計 388 人が参加。
- 2 月にジャカルタを中心に発生した洪水の被災者 504 世帯に対して食料・日用品・衛生用品を配布。

新しい事業所を開設する前に、
住民にインタビューを実施

教師トレーニングの様子

全ての子どもに平等な機会を

穴に紐を通すことに挑戦する
ヴィアンドラちゃん

ジョグジャカルタの活動地域で支援を受けているヴィアンドラちゃん（6 歳）は、知的障害と診断されています。彼女は、物事を把握したり、順序立てて取り組むことができません。学習面での遅れだけではなく環境への適応能力、周囲とのコミュニケーションにおいても難しさを抱えています。

グッドネーバーズ・インドネシアは 2015 年より、こうした子ども達のために先生を雇いました。先生は、文字の読み書きや発音のほか、絞る・ねじるといった手の運動や、絵を描く・色を塗るといった行動を通して運動機能や創造力を育てられるよう取り組んでいます。

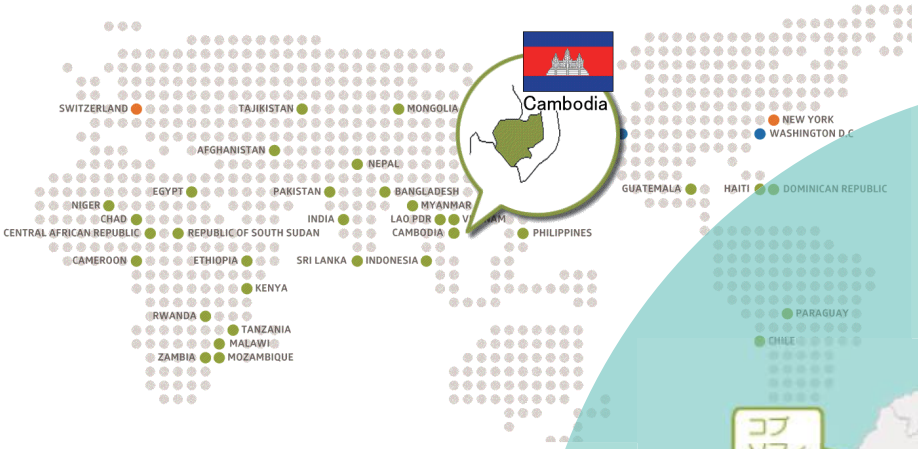
『ヴィオ』という愛称で親しまれているヴィアンドラちゃんはゆっくりではありますが確実に成長しており、最近では言葉のスペルを正確に答えられるようになったり、数字や自分の名前、両親の名前を書くこともできるようになりました。その他にも色の違いが分かったり、線を書いたり、歯磨き、シャワーを浴びる、服を着る、お祈りをするといった生活に必要な行動もできるようになっています。

どのような子ども達にも、教育を受け成長する権利があります。グッドネーバーズはその子どもの権利を守るため、挑戦し続けます。

カンボジア

6,011 人を対象に、7 カ所の活動地域で子どもの権利についての認知を広めるプログラムを実施しました。

活動地域



活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 3,853 人が新たに通えるよう、17 の小学校を建設（増改築含む）。
- 8,640 人の子ども達に健康診断を実施。
- 1,164 人が安全な水にアクセスできるよう、浄水施設や浄水器を設置。
- 新たに 79 世帯が農業などを通じた収入向上活動グループに参加。
- 367 世帯に家庭用ソーラー発電を導入。

医療センターで怪我の治療

村人に浄水器の使い方を説明

村で協力して学校建設

笑顔で話すフェルンちゃん

学校に通えるように

　フェルンちゃん（8 歳）は兄妹で五番目に生まれました。彼女が学校に通う年齢になった時、村に学校はなく、村外にある学校は遠すぎるだけでなく通学路は人けがなく危険な道だったので、彼女も含め村のほとんどの子ども達は学校に行けなかったり、 中退したりして小学校を卒業することができないでいました。

「お父さんは、お兄さんやお姉さん達にも勉強させたかったんだけどできなかったのです。私も同じように読み書きができないまま大人になると思っていました。」とフェルンちゃんは言っていました。

しかし、グッドネーバーズ・カンボジアがその村で活動を始め、地域の人々が自らの生活や経済、環境を良くするために協力して自発的に活動するよう呼びかけました。この活動によって、地域の人々は子ども達の学校建設のために労働力を提供してくれることになりました。

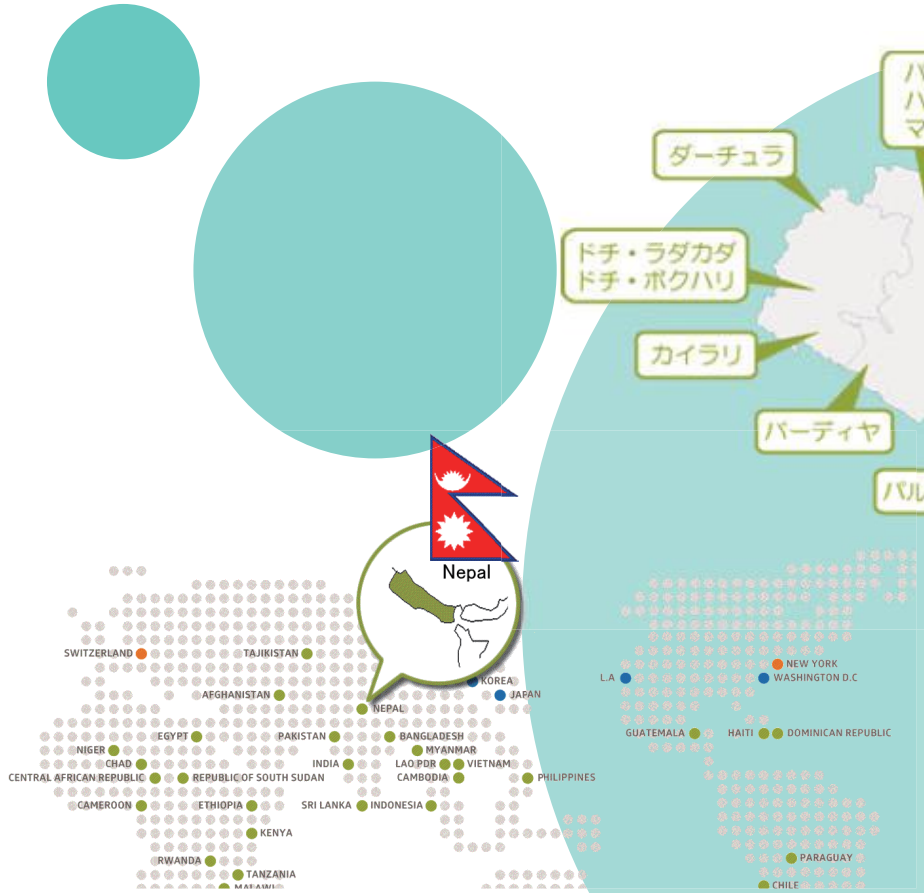
「村の人達が学校を作ってくれると聞いた時は本当に嬉しかった。みんなと一緒に勉強できるようになるなんて！私も手伝います」

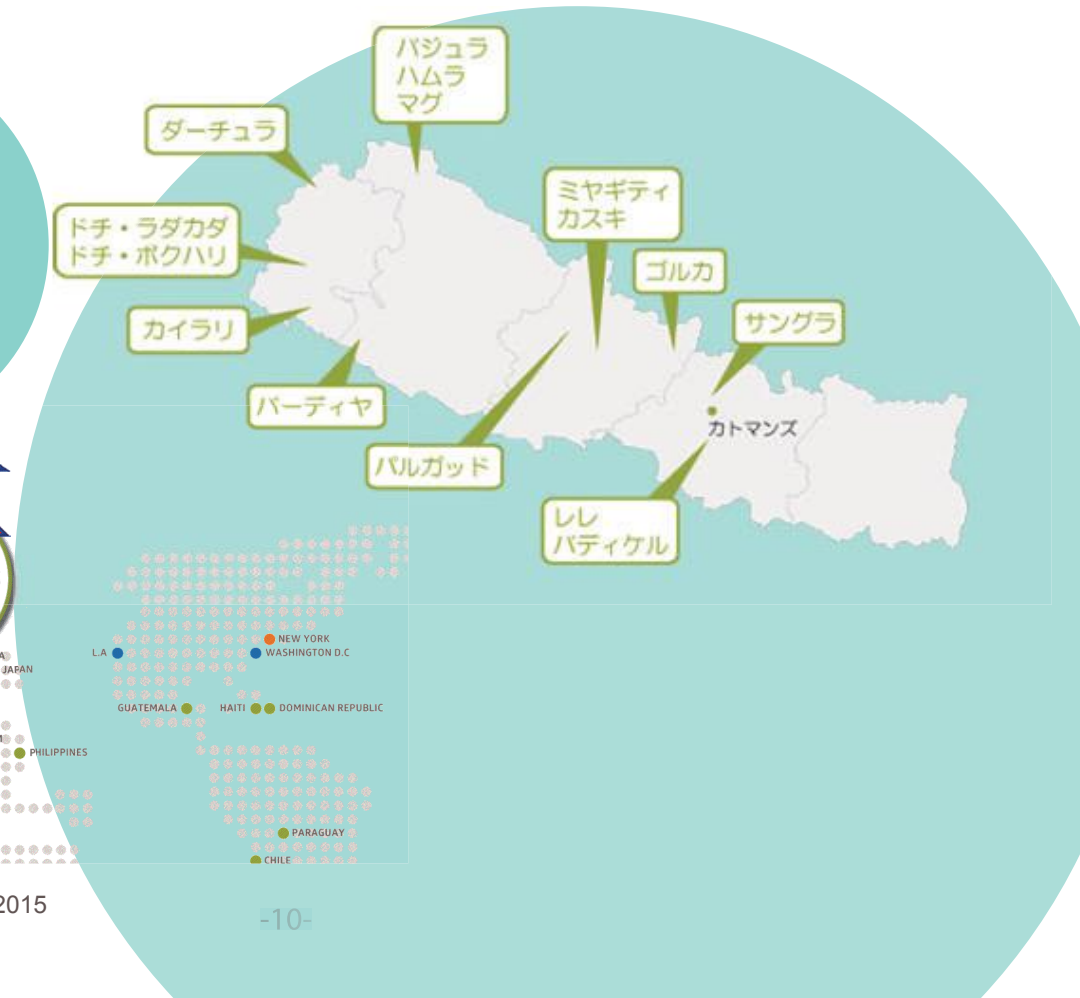
　村の大人だけではなく子ども達も協力して学校を建てるための木や葉を運び、学校は完成しました。フェルンちゃんは 1 年生として入学し、現在は毎日学校に通っています。その学校は村の全ての子ども達を受け入れています。

ネパール

ネパール地震での活動が評価され、ネパール保健人口省の協力のもと、被災地における小学校再建プロジェクトの実施が決定しました。

活動地域





活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 22 か所に図書館を設置。8,000 人が利用可能に。
- 34,585 人の子ども達に、制服・学用鞄・教科書・文房具などを提供。
- 活動地域の人々 85%が衛生的なトイレを使えるように。（国平均 62%）
- ネパール大地震で被災した 14,486 世帯に、物資、医療、水道修理等を支援した他、13 校の教師を対象に、PTSD（心的外傷後ストレス障害）に対する心のケアトレーニングを実施。（GNJP の活動詳細は P 20 に記載）

トイレの普及など衛生教育の啓発

仮設教室で学ぶ被災地の子ども達

PC で収入を得られるように

ウダヤさん（23 歳）はサングラにあるバルクマリ大学の 2 年生です。父親は彼が幼児の時に家を出て行ってしまいました。それ以来、ウダヤさんと母親は叔母家族と一緒に住んでいます。叔母の家族は彼等をよく助けてくれています。母親は日雇い労働をしながらウダヤさんを育ててきました。

支援を受けていた頃

多くの貧困家庭がそうであるように、母親は彼を学校に入れることができませんでしたが、2002 年に彼はグッドネーバーズの支援を受け始めることができました。それによって教材、制服、授業料の支援や、定期的なカウンセリングを受けることができた彼は、大学進学のための全国統一試験に無事合格することができました。

大学で学びながら
PC の講師としても活躍

また、コンピューターが得意だった彼は、2014 年にグッドネーバーズの支援で 6 カ月間のコンピュータハードウエアコースに参加しました。彼は非常に優秀で、コースの修了前にその学校のパートの PC 講師として採用され、今は大学生として勉強を続けながら家計を助けています。

彼は自信に満ちた表情で、「僕達家族の暮らしはこれからもっと良くなる。勤勉さと強い意志で夢を叶えることができると信じている」と語ってくれました。

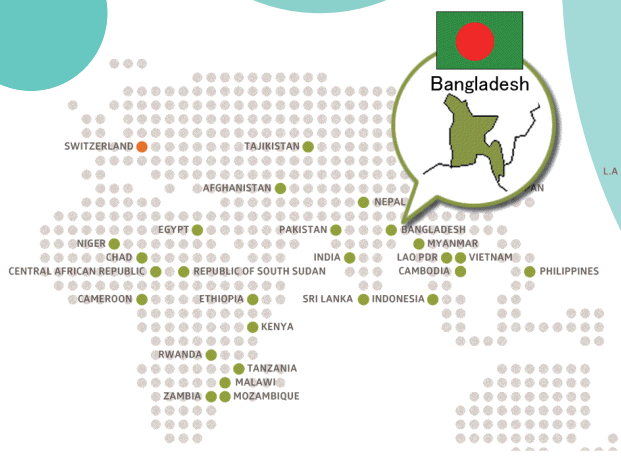
バングラデシュ

出生届のキャンペーン等により、支援対象のすべての子どもが出生証明書を持っています。

※バングラデシュの5歳以下の子どもの届け出率37%　(UNICEF Multiple Indicator Cluster Surveys (MICS) 2012-2013)

© Chan Hak Park

活動地域



活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 1,586 人に学費（入学金、授業料、奨学金、試験費用等）を支援。
- 支援対象の子どもの母親 1,050 人が成人識字教育プログラムに参加。
- デイケアセンター 20 カ所で毎日の給食プログラムを実施。
- 蚊を媒介する感染症予防のため 3,220 人に蚊帳を配布。
- 3,754 人の子ども達がそれぞれの夢について考える "Ami Hote Chai（将来の夢は）" キャンペーンに参加。

識字教室に参加する母親達

Ami Hote Chai キャンペーン

早すぎる結婚を回避できた

ナジャハンちゃん

グッドネーバーズの支援を受けるナジャハンちゃん（11 歳）は、成績優秀な女の子で周りも彼女の将来に期待していました。しかし、父親は「女の子など家族の重荷だ」という考えの持ち主で、2015 年 8 月のある日、彼女に結婚するように言いました。

ナジャハンちゃんが泣きながら友達に相談したところ、グッドネーバーズや子どもの権利委員会は結婚をやめさせようと、彼女の家へ行きました。

子どもの権利委員会の議長は、「あなた達家族には土地や医療関係の書類を読める人がいないでしょう。でも娘さんが教育を受ければ、誰もあなた方を騙すことができなくなるんですよ。」と説得しましたが、父親は「歳をとったらいいところに嫁に行けなくなる」と譲りません。

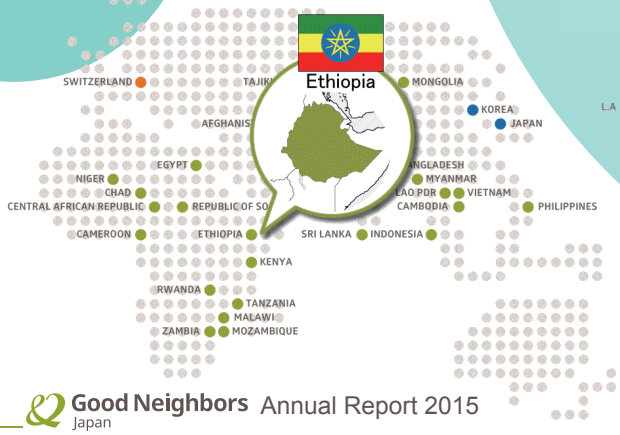
一度は娘を嫁に出さないことを約束した父親ですが、結婚準備を密かに進めていました。グッドネーバーズのスタッフは再度訪問し、早婚が法律違反であることを説明し、全力で説得を試みましたが、父親はその夜婚姻の準備を完了してしまいました。最終的にはグッドネーバーズは警察と地方政府に通報し、この婚姻を阻止しました。法に反した両親には 1,000 タカ（約 1200 円）の罰金が課せられ、娘が 18 歳になるまで結婚させないという誓約書にサインさせました。

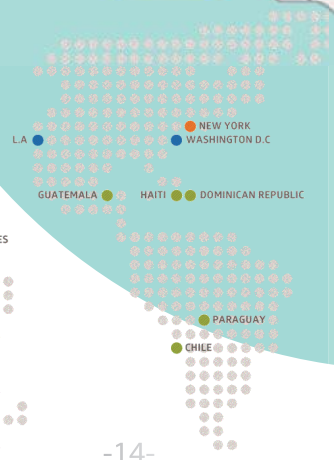
ナジャハンちゃんは学校に戻ることができました。事件の後、ナジャハンちゃんは地域の人々に体験談を語り、子どもの様々な権利について問いかけ、全ての子ども達がその権利を享受できるよう活動しています。

エチオピア

予防可能な子どもの二大死因（肺炎・下痢）への対策として、初期治療のできる施設の設置や衛生教育を強化しています。

活動地域

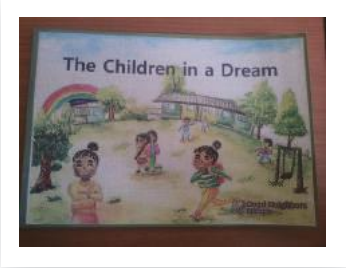




活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 3 地域に図書館を開設、月に 3,457 人が利用。
- 3,000 人が利用可能になる、壊れた井戸を修理。
- 4,550 人に虫下しの薬を配布。
- 1,649 人が子どもの権利キャンペーンに参加。
- 70 のゴミ箱を 2 地域に設置。町の清掃活動に 1,700 人が参加。



子どもの権利教育に使う教材

道路の清掃をする住民達

毎日 2 時間の水汲みから解放

メドハニットちゃん（13 歳）は、シダマ地域でグッドネーバーズ・エチオピアの支援を受けている、ドベ・コミュニティスクールの 4 年生です。彼女には 4 人の兄弟と 5 人の姉妹がおり、一緒に暮らしています。

彼女の家での仕事は水汲みです。近くの井戸は 3 年前に故障し、メドハニットちゃんを含めこの地域の人は飲み水や調理用の水のために何キロも歩き、汚れた湧水を何とか手に入れていました。村のほとんどの女の子達も同じような状況です。湧水はいつも水を得るために待つ子ども達でいっぱいでした。

井戸で水を汲む
メドハニットちゃん

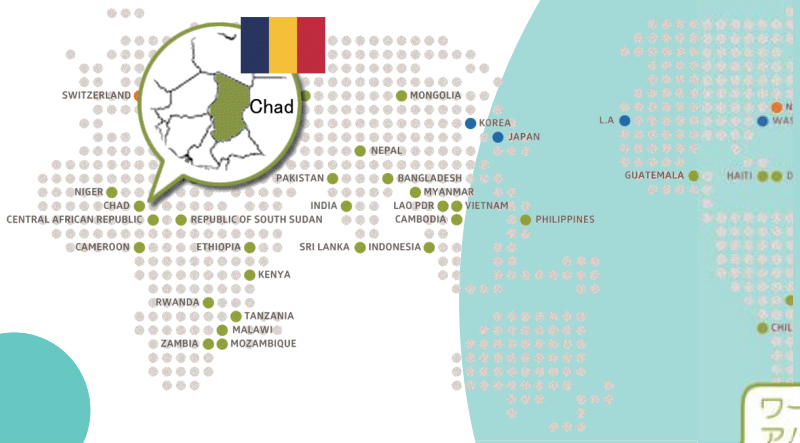
彼女の家からその水源までは 30 分以上かかり、学校に時間通りに着くこともままなりませんでした。特に彼女の家のような大家族では大量の水が必要なため、1 日 2 往復以上、ほぼ 2 時間を費やしていたのです。湧水にたどり着くには急な坂もありますし、特に雨季には水の重さに加え土がぬかるんで滑りやすく、水を汲みに来た子ども達は何度も転びながら重たい水を運ばなければなりませんでした。

しかし今ではグッドネーバーズが修理したポンプ井戸からきれいな水を得ることができます。短時間で必要な水を確保することができ、学校に遅れることもなくなりました。

チャド

1年間で、39カ所に井戸などの飲料水を供給する設備を設置しました。

活動地域



活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 小学校 1 校、中学校 2 校を建設。
- 資格のないコミュニティ・ティーチャー 180 人に教員研修を実施。
- 582 人の子ども達に学校給食プログラムを実施。
- 妊婦と乳児の HIV/ エイズ対策ワークショップに 60 人の女性が参加。
- 気温が下がる 11-2 月に備え、支援対象の子どもと家族に 5,923 枚の毛布を提供。

教員研修の様子

毛布を受け取った生徒達

イベントの売り上げで井戸完成

2014 年 11 月、グッドネーバーズ・ジャパンは浜松町から東京タワーまで 10 リットルの水を運びながら歩くイベント『井戸 for チャド～I do for Chad~ 10L チャレンジ ウォーク』を実施しました。これは、チャドに井戸を設置するためのファンドレイジング (資金調達) イベントであり、また、毎日井戸や水場まで水汲みに歩く人々の生活の一部を体験することで、安全な水にアクセスできることの必要性、大切さを知ってほしいということも目的の一つでした。

そして 2015 年 11 月、イベントの売り上げ 195,360 円とグッドネーバーズ・ジャパンのサポーター様のご寄付により、チャドのファシャアテレ地域でグッドネーバーズが運営するナラスクールという小学校の校庭に念願の井戸が完成しました。

以前、ここナラ村では安全な水が不足し、多くの人はきれいな水を飲むことができませんでした。人々は片道 3~6 キロ歩いて地面に穴を掘っただけの井戸まで水を汲みに行き、この水は腸チフス、マラリア、腎疾患、コレラなどの病気の原因となることもありました。

もちろんこの井戸は学校だけではなく、村人みんなが使えます。井戸が設置されたことで、850 人が無色透明の安全な水を口にすることができるようになりました。

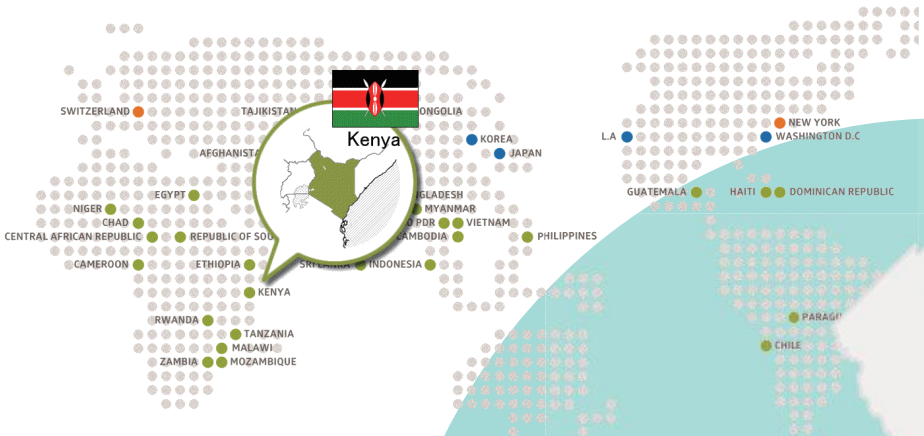
井戸のわきに建てられた看板

校庭に井戸が完成

ケニア

教育や保健など各分野で、58 の地域グループとのパートナーシップを組み、住民を主体とした地域開発を行いました。

活動地域



活動の成果

2015 年に実施した活動の成果の一部をお伝えします。

- 7,868 人の子ども達に制服を提供。
- 美容、洋裁、コンピューターの職業訓練に 239 人が参加。
- 毎月、女子生徒 4,330 人に生理用ナプキンを配布。
- 439 世帯が畜産などの収入向上グループや協同組合に参加。
- 南スーダン難民を主とするカクマ難民キャンプにおいて、2,347 人の難民にシェルターを提供。

支援された制服を着た子ども達

難民キャンプでのシェルター建設

特別栄養食で回復

リスパー先生とベロニカちゃん

私は小学校で教師をしている、リスパーと申します。皆さんに、ベロニカという女の子の話を紹介したいと思います。

ベロニカは 12 歳の明るい女の子で、現在 4 年生です。2011 年に母親が HIV/AIDS で亡くなり、3 人姉弟の長女として生まれた彼女は、母親の死に大きな影響を受けました。その後父親も病で亡くなり、ベロニカと弟は孤児になったのです。

2 人の弟は地方の叔父の家に引き取られ、彼女は首都ナイロビのコロゴチョというスラムで、叔母に引き取られました。叔母には自らの家族もあり、ベロニカの世話があまりできない状況だったので、彼女はよく病気になりました。ある日、叔母が体調を崩したベロニカを病院へ連れて行くと、彼女も母子感染で HIV に感染していたことがわかりました。ARV（抗 HIV 薬）を服用し始めましたが、副作用が非常に強くベロニカは授業に集中することもできなくなりました。

グッドネーバーズが支援するリジアスクールでは、病気を持つ子ども達に特別食を配っています。学校では既に、その特別食で回復を見せている子どももおり、プログラムに参加したベロニカもミルクやフルーツを毎日摂れるようになりました。すると身体がどんどん回復して薬の副作用もなくなり、笑顔を見せるようになり授業にも積極的に参加することができるようになりました。

現在 4 年生のベロニカはとても元気に他の子どもと同じように生活しています。よく勉強して、将来は医者になりたい。そして弟達と一緒に暮らしたいと言っています。

緊急支援

ネパール震緊急支援

災害：　マグニチュード 7.8 の地震（2015 年 4 月 25 日）

地域：　ゴルカ郡

期間：　2015 年 4 月 27 日～ 2016 年 10 月末（予定）

対象：　1,170 世帯 (約 6,300 人)

内容：　公共水道の修理※1、仮設共用トイレの設置※1、小学校の建て直し※2

※1　ジャパン・プラットフォーム助成事業　※2 赤い羽根共同募金助成事業

活動地域まで山道を歩く

大きなタンクを運ぶ村人

修理された水道を使う女性達

仮設トイレ

グッドネーバーズ・ジャパンは、被害の大きかったゴルカ郡の 5 つのコミュニティにおいて、計 32 系統の公共水道を修理しました。さらに 10 系統を修理予定です。また、2 つのコミュニティにおいて 41 基の公共仮設トイレを設置しました。

受益者インタビュー

ギヤヌさんとスタッフ

ギヤヌさん (68 歳) は、ゴルカ郡のアルアルバン村のある地区のリーダーの母親で、「長老」のように村人から尊敬を集めている聡明な女性です。彼女は地震と、グッドネーバーズ・ジャパンの支援についてこのように語ってくれました。

「私と周りの全てのものが激しくゆれ、目の前で家々が倒壊しました。すべてを失いました。水も出なくなり、食事も日々の生活も、どうすればいいかわかりませんでした。そんなとき、グッドネーバーズ・ジャパンがやってきました。外国人がこの村に来たのはそれが初めてでした。私達の村で水道の修理を始めると聞いた当初は正直信じられませんでした。しかし本当に家の近くで作業が始まったので、村の復興のために協力するよう息子（地域のリーダー）に伝えました。皆が力を合わせることで、より良いものができると考えたからです。」

工事は村人の手伝いもあって 2015 年 11 月に完成し、この地区に暮らす 43 世帯（175 人）と、村に唯一ある小学校で安全な水が手に入るようになりました。

写真　アルアルバン村の村人と

グッドネーバーズ・ジャパンは現在、被災した校舎の再建事業※を行っております。

今回の地震により、グッドネーバーズが支援する子どものうち、9 名が犠牲になり、14 名が怪我をしました。グッドネーバーズ・ジャパンのサポーター様が支援している子どもの中に人命に関わる被害はありませんでしたが、1 名が足に怪我を負いました。

亡くなられた子どものご冥福をお祈りしますとともに、引き続き、被災された方の支援を最大限続けてまいります。

マラウイ洪水緊急支援

災害：　1 月の豪雨の影響による洪水被害

地域：　南部州 パロンベ地区チワロ内

期間：　2015 年 4 月～ 2015 年 6 月

対象：　556 世帯 (特に支援を必要とする妊娠中または授乳中の女性や、高齢者、体が不自由な人がいる世帯)

内容：　1 カ月分の食料および石鹸や調理器具・蚊帳などの生活用品、家の再建に必要なビニールシート

※ジャパン・プラットフォーム助成事業

洪水で破壊された家

バケツを調達

配付の様子

マラウイの支援チームと

マラウイの洪水被害を受けた地域では、災害発生から 3 カ月以上が経過しても、多くの人々が元の生活に戻る見通しが立たず、日用品や食料も充分にない状況でした。

途上国に暮らす人々の多くは、家屋の作りがぜい弱で食料の備蓄もなく、自然環境に左右されやすい農業で生計を立てており、災害の影響を受けやすい環境にあります。災害発生時だけではなく、彼らの生活環境や経済状況を底上げするような地域開発が、今回のような被害を減らす一助になるものと再認識しました。

受益者インタビュー

自転車を修理する
モファットさん

4 人の子どもを持つ、片足が不自由なモファットさん (34 歳) は、ヤギや豚、鶏などを飼育し生計を立てていました。1 月の洪水で家畜は全て流されてしまい、家も 4 分の 3 は壊れてしまいましたが、今もその家で暮らしています。

「家で呆然としていても何も始まらないので、自転車の修理屋を始めました。」と話すモファットさん。専門的なスキルはありませんでしたが、自分の自転車を直していた経験を活かし、修理屋を営んでいます。朝 6 時から夕方 4 時まで働いているため楽な仕事ではありませんが、今は一定の収入を得られています。

こつこつとお金を貯め、家の再建に必要なレンガをすでに用意していました。そして、グッドネーバーズ・ジャパンから配布されたビニールシートと釘を使って、近々家を建て直す予定だと話してくれました。

無邪気な笑顔の
子ども達は、スタッフの
パワーの源です！

一年のあゆみ

2015 1月

国際シンポジウム ～アジアにおける開発と国際協力～に登壇

1月28日、大阪産業大学で開催された国際シンポジウム【アジアにおける開発と国際協力】で、小泉事務局長が「NGOによる草の根国際協力」というテーマで登壇しました。

このシンポジウムは大阪産業大学大学院経済学研究科および同大学アジア協働センターの共催によるもので、大学教授や大学院生、海外からの登壇者など合わせて50人ほどが参加しました。

参加者の中にはNGOの活動になじみのない方も少なくなく、現地の行政機関とNGOの関係についてや、資金調達はどうしているのか、などの質問が挙がっていました。

NGOの活動について発表

2015 2月

第3回国連防災世界会議に参加

会議の様子

3月14日～18日、宮城県仙台市で開かれた第3回国連防災世界会議に、事務局長の小泉と国内災害対策室の武鑓が出席しました。

国連防災世界会議は、国際的な防災戦略について議論する国連主催の会議です。潘基文国連事務総長や安倍首相ほか、187カ国から約6,500人が参加し、最終日には今後の各国の防災の具体的な行動指針をまとめた『仙台防災枠組』と今回の会議の成果をまとめた『仙台宣言』が採択されました。

期間中は様々なセッションが仙台のいたるところで開催され、多くの日本人スピーカーが日頃からの防災活動の必要性を呼びかけていました。災害大国日本と呼ばれる国に住む私達だからこそ、様々な被災経験をもとに世界に警鐘を鳴らしていかなければならないと改めて感じました。（武鑓）

2015 3月

バヌアツ・サイクロン緊急支援を見送り

2015年3月13日から14日にかけて南太平洋の島国バヌアツを、大型のサイクロン「パム」が直撃しました。

人口の半分にあたる13万人が被災したとされ、バヌアツ大統領が国際支援を要請したことを受け、当団体は直ちに募金を開始し、調査チームを現地へ派遣しました。

家を修復する住民

しかしその結果、近隣のオーストラリア等から多くの支援が集まり、水や食料不足は解決しつつあること、損壊家屋は政府が配布した資材を使って住民により修繕が進められていることがわかり、今回の支援を見送りご寄付を返金することにしました。

連絡先のわかる方には返金の手続きを説明し、連絡先不明の方、返金を辞退された方から頂いたご寄付は、「緊急支援の備え」として、今後の緊急支援に活用させていただくこととしました。

このように、支援を見送るというのは当団体としては初めてのことだったのですが、いち早くご寄付をくださり、またこの度の判断をご理解くださった皆様にに改めて感謝いたします。

2015 4月

「もったいない」を価値へ KURADASHI に参加

世の中には、商品そのものには問題がなくても、賞味期限間近やパッケージ変更などの理由で廃棄されてしまうものがたくさんあります。

お買物をしながら社会貢献ができるショッピングサイト、『KURADASHI.jp』では、そのような商品を特別価格（メーカー希望小売価格の最大９割引き）で購入でき、その一部が社会貢献を行う団体に寄付されます。

４月より、当団体もその支援先に加わりました。同サイトで商品を１つ買う毎に一部が支援金となり、グッドネーバーズが活動する途上国の子ども達の給食支援や教育支援等に使われています。

マラウイ洪水緊急支援 スタッフ２名を派遣

４月 26 日、スタッフ２名をマラウイ共和国に派遣し、グッドネーバーズ・マラウイのスタッフと共に南部州パロンベにて、日用品および１カ月分の食糧を配布しました。（詳細は P21）

2015 5月

児童労働に NO! 「レッドカードアクション」

６月 12 日の『児童労働反対世界デー』に向けて、当団体が運営委員を務める児童労働ネットワーク主催の、『レッドカードアクション』（期間：５月５日～７月５日）に今年も参加しました。

2015 年は初のフォトコンテストが開催され、グッドネーバーズ・ジャパンが投稿した、レッドカードを使って「（児童労働に）NO!」を表現した写真が ACE 賞を受賞しました！

世界では未だ、５歳から 17 歳の子どもの９人に１人が苛酷な児童労働に就いています。子ども達の未来を奪う、この問題に今後も取り組んでまいります。

ネパール地震緊急支援 公共水道修理事業

ネパールで４月 25 日に発生地震の緊急支援のため、５月にスタッフが現地調査を行い、ゴルカ郡における公共水道の修理事業等を開始しました。（詳細は P20）

2015 6月

１週間限定 チャリティ T シャツを販売

京都のソーシャル・ファッションブランド JAMMIN と、グッドネーバーズ・ジャパンのコラボによる、チャリティ T シャツが、６月８日から一週間の期間限定で販売されました。

T シャツは「５」のキャンドルが乗ったバースデーケーキをデザインしたもの。１日に約１万７千人もの子どもが５歳の誕生日を迎える前に亡くなっている、という事実に焦点を当て、「誰もが５歳の（それ以降も）誕生日を迎えられる世界になってほしい」という意味が込められました。

スタッフも、SNS などでそれぞれの「5 歳の時の夢」を発表しながら PR し、計 50 枚を販売。一枚 3,000 円のうち 700 円がグッドネーバーズ・ジャパンへの寄付となるため、寄付額は 35,000 円になりました。

2015 7月

古着を寄付して国際協力【リサイフク】受付開始

2013年に行った「古着10トンキャンペーン」のご好評にお答えし、2015年7月より、『リサイフク』を開始しました。これは、古着を寄付・リサイクルして世界の子ども達を支援する、株式会社ベクトルとグッドネーバーズ・ジャパンの取り組みです。寄付された古着は国内のリサイクルショップで再販され、その査定額が寄付金としてグッドネーバーズの活動に使われます。

送料無料（一部地域を除く）で着なくなった服を送れて、国内のゴミの削減にもなり同時に国際協力もできるということで、多くの賛同を得て口コミなどで広まり、開始から一年間でのべ5,600人以上の方にご参加いただきました。

お送りいただいた服のkg数と寄付額の累計は、毎月WEBサイトにてご確認いただけます。

アメリカの学生インターンを受け入れ

2015年6月～7月にかけ、アメリカはインディアナ州にあるアーラム大学から、二人のインターン（研修生）を受け入れました。

語学力向上、日本の文化を学ぶ、日本での職業体験などがインターンシップの目的ということですが、当団体の事務所で翻訳や調べもの、ファンドレイジング（資金調達）の企画、清掃など様々な業務をこなしてくれました。

2015 8月

フェイスブック 1万いいね！達成

8月、グッドネーバーズ・ジャパンの公式フェイスブックページのいいね数が1万を超えました。

今後も、皆様に親しんでもらえて役立つ情報を発信していきたいと思います。

2015 9月

国連持続可能な開発サミット ～持続可能な開発目標(SDGs)が採択～

9月、国連ニューヨーク本部で行われた「国連持続可能な開発サミット」において、持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)が採択されました。

これは過去15年間、世界の目標とされたミレニアム開発目標(MDGs)の次のステップとして、新たな課題や残された課題に対するために、より包括的・具体的な開発の実現を目指すものです。

サミットには潘基文国連事務総長や安倍首相、オバマ大統領など193カ国のリーダーが参加し、持続可能な開発目標として17項目のゴールと169項目のターゲットを設定しました。グッドネーバーズも国連経済社会理事会(ECOSOC)の総合協議資格を持つNGOとして国連の招待を受け、3人の代表団が本サミットに参加しました。

2015 10月　2015 11月　2015 12月

【グッドギフト】であなたの気持ちを現地へ贈ろう

10月15日、新しい寄付の形『グッドギフト』を開始しました。

『グッドギフト』は、給食や学用品、健康診断に浄水器などあなたの選んだギフトが、グッドネーバーズを通じて途上国の人たちに届けられる、ギフトカタログです。

贈りたいギフトを選んで寄付

例えば、エチオピアの子ども1人に「1カ月分の給食」を届けることのできるギフトは1,650円。そのほかのギフトも、学用品・健康診断に浄水器など生活には欠かせないものを選びました。

寄付が何に使われるかわかりやすいことと、クリスマスシーズンにラジオJ-WAVEで放送されたこともあり、12月末までの2カ月半で64件のギフトお申し込みをいただき、寄付額は26万493円となりました。寄付金は指定の国で、ご購入いただいたギフトのプロジェクトを実施するための活動に使われます。

WEBサイトがリニューアル

10月5日のホームページをリニューアルにより、新たにJCB、AMEXのクレジットカードがご利用いただけるようになりました。また、マイページ機能も加わったほか、スマートフォンでも見やすくなりました。

グローバルフェスタ2015

10月3日・4日、毎年恒例の国際協力イベント「グローバルフェスタJAPAN2015」に参加しました。

寄付つき年賀状を発売

11月、初の試みとして2016年のオリジナルデザインの年賀状を販売しました。

年賀状の購入代金（1枚100円、切手付）のうち、1枚につき10円がグッドネーバーズの活動への寄付になるというもので、郵便局のお年玉付年賀はがきに印刷した、3種類のデザインからお選びいただけるようにしました。

販売期間はわずか2週間だったものの、410枚の年賀状を販売することができました。

ネパール地震緊急支援活動報告会

12月18日、ネパール地震緊急支援の報告会を、事務所近くのインド・ネパール料理店で実施しました。

報告会にはサポーターや一般の方々10名が参加し、ネパールから帰国したばかりの齋藤スタッフが地震の被害の状況や、活動報告、被災地の現状と課題をお伝えしたほか、ネパールの文化や生活についてお話ししました。

会計報告

2015 年度収支計算書（2015 年 1 月 1 日～ 12 月 31 日）

収入の部

（単位：円）

Ⅰ　経常収入の部		
寄付金収入		31,862,106
助成金等収入		79,391,215
助成金収入	49,326,651	
グッドネーバーズ本部補助金収入	30,064,564	
事業収入		660,064
その他収入		1,888
経常収入合計		111,915,273
Ⅱ　その他資金収入の部		
前期繰越金		10,321,046
収入合計		122,236,319

支出の部

Ⅲ　経常支出の部		
1　事業費		
(1)開発途上国等の子ども達並びにその家族および地域社会のための地域開発支援事業	17,998,763	
(2)開発途上国等における、大規模自然災害または紛争等の発生時における緊急人道支援および復興支援	38,641,369	
(3)地域開発支援事業への支援者と、開発途上国の子ども達ならびにその家族および地域社会との間の相互理解の促進	6,764,848	
(4)国際協力に対する日本の人々の理解を深める啓発事業	10,500,793	
(5)国際協力に参加する機会を広く日本の人々に提供する普及活動	4,675,108	
(6)その他目的を達成するために必要な事業	2,055,419	
事業費合計		80,636,300
2　管理費		4,299,927
経常支出合計		84,936,227
Ⅳ　その他資金支出の部		
法人税、住民税および事業税		70,289
次期繰越金		37,229,803
支出合計		122,236,319

当期収支差額	0

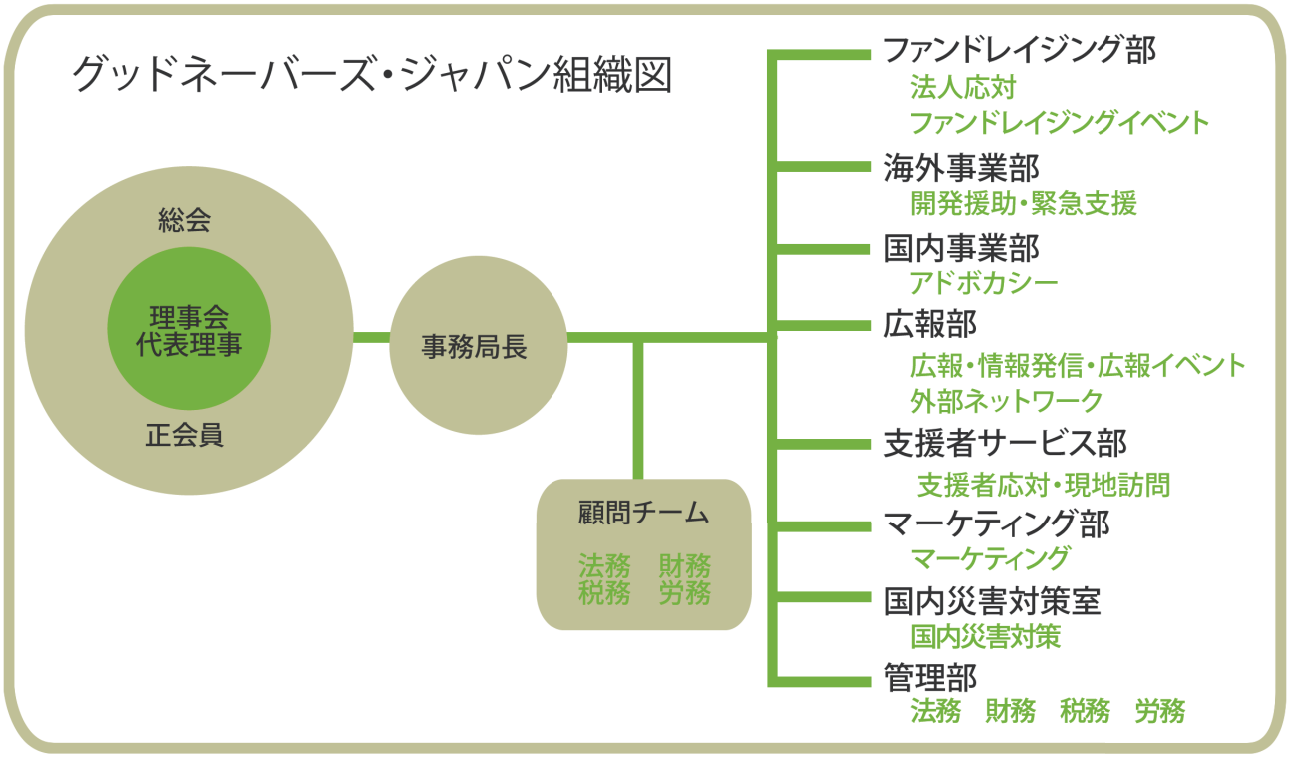
貸借対照表（2015 年 12 月 31 日現在）

（単位：円）

Ⅰ　資産の部		
1　流動資産		
現金預金	16,438,136	
未収金	2,208,630	
商品	42,563	
貯蔵品	122,877	
仮払金	2,417,334	
緊急支援等事業特定資産	18,106,088	
流動資産合計		39,335,628
2　固定資産		
敷金	803,500	
固定資産合計		803,500
資産合計		40,139,128

Ⅱ　負債の部		
1　流動負債		
未払金	2,542,450	
預り金	296,969	
未払法人税等	69,906	
流動負債合計		2,909,325
2　固定負債		
固定負債合計		0
負債合計		2,909,325
Ⅲ　正味財産の部		
前期繰越正味財産		10,321,046
当期正味財産増減額		26,908,757
正味財産合計		37,229,803
負債及び正味財産合計		40,139,128

組織概要・役員一覧



理事・顧問

代表理事：　福井　玲　（東京大学教授）
副代表理事：窪　誠　（大阪産業大学教授）
常務理事：　小泉　智　（グッドネーバーズ・ジャパン事務局長）
理事：　韓　福相　（大阪産業大学教授）
　　李　健泳　（新潟大学教授）
　　李　一夏　（元グッドネーバーズ・インターナショナル会長）
監 事：　小林　貴　（株式会社奈良屋代表取締役）
法務顧問：　金子　憲康　（弁護士）
財務顧問：　あさひ会計事務所
労務顧問：　淺井　浩次　（特定社会保険労務士）

Accountability
Self-Check 2012

これは、JANIC の「アカウンタビリティセルフチェック 2012」マークです。JANIC のアカウンタビリティ基準の 4 分野（組織運営・事業実施・会計・情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。

加盟団体・参加ネットワーク

JANIC（国際協力 NGO センター）/ JPF（ジャパン・プラットフォーム）
CL-Net（児童労働ネットワーク）/ なんとかしなきゃプロジェクト
JNNE（教育協力 NGO ネットワーク）/ 日本ファンドレイジング協会
「動く→動かす」（GCAP Japan）/ NGO-JICA 協議会
CSR 推進 NGO ネットワーク / 子どもの権利条約 NGO グループ / 日本

今、世界では・・・

小学校に通えない子ども達の数、5,800 万人。

1 日約 1 万 7,000 人の子どもが 5 歳の誕生日を迎えずに亡くなっています。

児童労働に従事する子ども、1 億 6,800 万人。

9 人に 1 人が充分な食べ物を得られません。

貧困から発生する様々な問題において、特に被害を受けやすいのが子ども達です。
私達に何ができるでしょうか。

参考：EFA グローバルモニタリング・レポート 2015、ユニセフ世界子供白書 2015、ILO グローバルレポート 2013、FAO 2015 報告書

認定 NPO 法人 グッドネーバーズ・ジャパン
〒 143-0016　東京都大田区大森北 2 丁目 14-2　大森クリエイトビル 3 階
TEL：03-6423-1768　FAX：03-6423-1766　E-MAIL：admin@gnjp.org
HP：http://www.gnjp.org　Twitter：@GNJapan　Facebook：facebook.com/gnjapan